



Vol 300  
2018年8月1日発行

# 藤本 みのる 通信

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3  
電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## かがり火市民祭りについて

第1回岩殿山かがり火祭りは、市制30周年記念事業として1984年(昭和59年)8月4日に開催され、協賛事業として第1回大月阿波踊りが実施されました。2006年第23回からは国道20号の全面使用が可能となり、2013年第30回からは本場徳島「天水連」が出演。メインステージの「ダンスバトル」と共に、見ごたえある発展をとげています。

かがり火の起源は、戦国時代の郡内領主・名君小山田信茂公が築城した岩殿山城にたかれた「かがり火」です。遺徳をしのび小山田軍団の出陣式を護摩を焚いて執り行い、その火を大月織物会館前の大たいまつに点火、それを合図に岩殿山頂の120基のたいまつに点火して祭りが始まりました。2009年からは現在の市民祭りとなり、小山田軍団に代わり、10地区公民館による小学生の御神火隊が、まつり街道や広場のたいまつにかがり火を点火しています。2014年市制60周年には陣羽織を新調。切り絵あんどんや伝統芸能など、市民祭りは年々成熟しています。

(郷土研究会 西室泰照氏 資料を参考)

## かがり火市民祭り

### 癒しの竹小路プロジェクト



今年は四季の丘に隣接する竹林から青竹を切り出しました。作業は私を含め6人で行いました。

この作業は、手入れできずに荒廃した竹林の整備に少しでも役立つというのですが、所有者や近隣住民から大変喜ばれました。

組み立て作業は、例年の通り建設協会の方が手際よく進めてくれました。

「竹がいい」とほめられましたが、今年も祭り会場入口、市役所本庁舎西側駐車場に竹棚が設置され、桃太郎ブース、小山田信茂公ブースなどの案内拠点として賑わいました。

## 【藤本みのる活動日誌】

- 7月25日(水) 笑いの家「実りの時間」でお話
- 7月30日(月) かがり火市民まつり準備・青竹切り出しのための作業場所づくり
- 8月 3日(金) かがり火市民まつり準備・青竹切り出し作業(6人)
- 8月 7日(火) 県防災減災事業(繰り越し)地元説明(小篠区A路線)